

令和7年度中央図書館事業計画

草加市立中央図書館

中央図書館運営方針



中央図書館では、市民の生涯にわたる自主的な学習活動を支え促進するとともに、地域の情報拠点としての役割を果たすために、事業計画に掲げる6つの事業を柱として個々の取組を推進します。

新たに、草加駅周辺の図書館サービスの拠点として、市役所（議会図書室）で図書館サービスを開始するとともに、中央図書館における様々なニーズに合わせた場所の整備を行い、誰もが使いやすい環境をつくります。また、市民の課題解決を支援できるように、地域の情報拠点として市民に役立つ図書館を目指します。さらに、「第二次草加市子ども読書活動推進計画」の推進に当たっては、学校や関係機関、読書に携わる市民ボランティア等とのネットワークづくりに取組み、子どもの発達段階や状況に応じた読書に親しみやすい環境を充実させます。

令和6年度の成果と課題

○成果

- ・ 草加の図書館創立100周年記念事業、クラウドファンディング型ふるさと納税、アウトリーチサービス等の実施により、今まで図書館を利用したことのない方にも広く図書館に関する周知を行い、合わせて読書の魅力を伝えました。
- ・ 第二次草加市子ども読書活動推進計画に基づき、学校や関係機関、読書に携わる市民ボランティアと連携した多様な取り組みを通年で実施しました。特に市内4高校との連携事業等の実施により、YA世代の貸出冊数及び利用登録者数が向上しました。
- ・ 本庁舎にブックポストを設置しました。また、図書館システムの更新を行い、スマートフォンの画面に表示されたバーコードを読み取り貸出ができる機能等を導入するとともに、中央図書館3階一般室でWIFIを利用できるエリアを拡大させ、利便性の向上を図りました。
- ・ これらの取組みにより、中央図書館の入館者数が増加しました。

●課題

- ・ クラウドファンディング型ふるさと納税で購入した児童書を有効活用しながら、子どもの読書活動をさらに推進すること。
- ・ 厳しい財政状況等においても、職員の創意工夫により、図書館サービスの充実を図り、第四次草加市総合振興基本計画・第三期基本計画の指標である「図書の貸出数」、「入館者数」及び「レファレンス受付件数」を確実に増やすこと。

令和7年度 中央図書館事業計画

No.	事業名	取組の概要	期間 回数	事業計画 (月)											
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	図書館資料や情報の充実及び効果的・効率的な提供	公立図書館の役割を果たし、魅力ある蔵書の整備を行います。	通年	←											→
		公民館図書室や議会図書室、小学校を活用した地域開放型図書室等を結ぶ図書館ネットワークを通じて、図書館資料を効果的・効率的に提供します。	通年	←											→
		他の公立図書館との相互貸借や獨協大学図書館との連携により、本市が所蔵していない図書館資料も利用者に提供できるよう努めます。	通年	←											→
2	郷土資料等の充実	奥の細道やドナルド・キーン等、草加市に関連する郷土の資料並びに人権及び平和に関する資料の充実を図ります。	通年	←											→
		平和、ドナルド・キーン、郷土作家等をテーマとしたギャラリー展示に合わせて、図書館の特設コーナーや資料の紹介を行い、関係諸機関と連携して情報を発信します。	通年	←											→
3	レファレンスサービスの充実	市民の課題解決や身近な調べ物の相談窓口となるレファレンスサービスの利用方法を周知し、利用を促進します。	通年	←											→
		レファレンス事例の公開やオンラインデータベース、Wi-Fi環境等の提供及び必要な情報を探しやすいするための書架づくりの検討など、利用者自身で調査や解決ができるように支援します。	通年	←											→

No.	事業名	取組の概要	期間 回数	事業計画 (月)											
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
4	誰 も が 読 書 を 楽 し む こ と が で き る 図 書 館 サ ー ビ ス の 充 実	いつでもどこからでも利用できる草加市電子図書館の利用を促進します。また、児童書読み放題パックの整備を図り、子どもたちの読書活動を支援します。	通年	←											→
		点字資料、大活字本、LLブック、布絵本等の充実を図るとともに、コミュニケーションボードの活用や拡大読書器等の提供により、市民の読書を支援します。	通年	←											→
		図書館協力者や市民ボランティアと連携し、視覚障がい者等に対面朗読や録音図書(DAISY)の作成・提供を行います。	通年	←											→
		やさしい日本語や外国語の資料の提供により、日本語を母語としない市民や外国語を学ぶ市民の読書と学習を支援します。	通年	←											→
		市民ボランティアと連携し、日本語を母語としない大人や子どもの日本語等の学習を支援します。	通年	←											→
	誰 も が 使 い や す い 図 書 館 づ く り	図書館に求められる役割が多様化していることに伴い、市民ニーズの把握に努めるとともに、潜在的利用者の利用にも繋がるよう、様々な利用者が来館したいと思える空間づくりを進めます。	通年	←											→
		草加市立図書館協議会を開催し、図書館運営に関する諮問や図書館奉仕に係る意見の聴取を行い、今後の図書館サービスのあり方についての検討を進めます。	年2回 以上				○							○	
		施設・設備の維持管理や修繕を適切に行い、施設・設備の長寿命化を図ります。また、地球環境に配慮した適切な室温管理を徹底することで、快適な利用環境を提供するとともに省エネや経費節減に努めます。	通年	←											→
		市役所に設置したブックポストの活用や、草加駅周辺の図書館サービスの拠点として市役所（議会図書室）で図書館サービスを開始し、市民の利便性の向上を図ります。	通年	←											→
		自動販売機、デジタルサイネージ、広告マット、広告付きレシートロールなど、歳入の確保に努め、図書館サービスの維持を図ります。	通年	←											→
		図書館要覧を作成し、令和6年度の図書館の運営状況について報告します。	年1回							○					
		多目的ホールの有効活用を図るため、利用範囲の見直しについて検討するとともに、一般利用（有料分）の促進を図ります。	通年	←											→

No.	事業名		取組の概要	期間 回数	事業計画 (月)												
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
6		6-① 計画の積極的な推進	第二次草加市子ども読書活動推進計画の推進に当たっては、学校や関係諸機関、読書に携わる市民ボランティアと連携を強化し、子どもが心に残る本と出会える機会を創出します。	通年	←──												

No.	事業名	取組の概要	期間 回数	事業計画(月)												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
6	子ども読書活動の推進	6－② 児童サービスの推進 (つづき)	児童クラブ等に本の団体貸出を行い、施設における読書活動を支援します。また、団体貸出制度の周知を強化します。	通年												
			保護者や幼児・児童向けの情報誌「じどうしつだより」を隔月で発行し、子ども関連施設等への配置により図書館の利用を促進するとともに家庭での読書活動を支援します。	隔月	○		○		○		○		○		○	
			読み聞かせやわらべうた等に関する講習会を開催し、市民ボランティアの技術や知識の向上を支援するとともに職員のスキルアップを図り、子ども読書活動を推進します。	年2回	○										○	
			図書館や公民館・文化センター図書室の書架に定期的に特設テーマを設けて季節の飾り付けや、楽しいPOP、ブックリスト等の展示を行い、子どもに読書の楽しさを伝えます。	通年												
	子ども読書活動の推進	6－③ 学校支援	市内21小学校を巡回して本を貸し出す中央図書館サービスコーナーや、学校からの依頼による調べ学習等の資料貸出及びパスファインダーの提供を通じ、小・中学校や高校の読書活動を支援します。	通年												
			小学生の図書館見学や中学生の社会体験事業に協力し、図書館に対する理解を深めてもらうとともに学校からの依頼によるブックトークを行い、子どもと本が出会う機会を創出します。	通年												
	子ども読書活動の推進	6－④ ヤングアダルトの読書推進	「ビブリオバトル・草加の陣」の開催、及び紹介された本の展示や貸出しにより、子ども読書活動を推進します。	年1回									○			
			市内県立高校と連携し高校生が読書に親しむ環境整備事業を実施することで、中高生の読書活動を推進します。	通年												
			ヤングアダルト（YA＝中高生世代）におすすしたい本の情報誌「Ya-Room.com」を年4回発行し、館内配布や市内中学校・高校に向けた情報発信により中高生の本との出会いや図書館利用の機会を提供します。	年4回	○			○			○			○		
			中央図書館YAコーナーに中学生・高校生世代のニーズに沿った蔵書を整備するとともに、スマートフォンから気軽に読書ができる草加市電子図書館に、ヤングアダルト（YA＝中高生世代）におすすめの電子書籍を充実させ、読書活動を推進します。	通年												
			定期テスト前に集会室を開放するなど、読書以外の観点からも中高生に来館のきっかけを提供することで、読書や図書館の利用に繋がります。	通年												